



特集

Major Articles

工夫が光る！ 在宅看護演習・実習

指定規則の改正により、「在宅看護論」は「地域・在宅看護論」へと科目名が変更されました。これは、医療構造の変化を反映したものであり、今後、看護基礎教育において地域・在宅の学びはさらに重視されることになるでしょう。

期せずして新型コロナウイルス感染症が看護教育機関にも大きな影響を及ぼし、看護教育の根幹ともいえる実習の実施などが難しい状況となりました。特に在宅看護領域においては、学生や教員が多くの施設に分かれて行う形式が主流であること、病院と比べ感染管理などが困難であることから、実習の実施がさらに難しい状況であると予測されます。

そこで本特集では、コロナ禍において実施された、在宅看護分野における、工夫が光る学内演習やオンライン実習を紹介し、時代をみすえた教育方法をご提案します。